

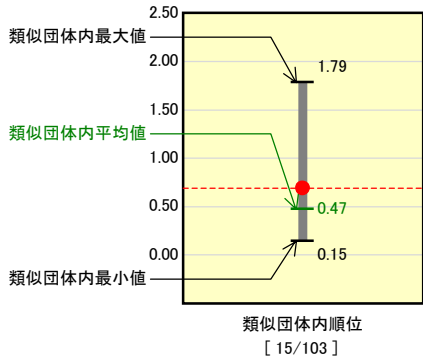
# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 京都府 宇治田原町

人口	10,180人(H17.3.31現在)
面積	58.26 km <sup>2</sup>
歳入総額	4,127,157千円
歳出総額	4,054,212千円
実質収支	68,475千円

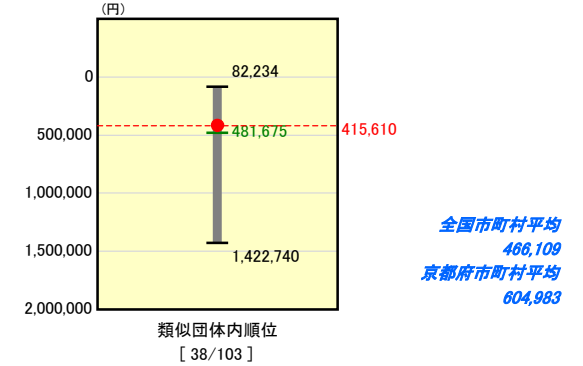
### 財政力

財政力指数 **[0.69]**



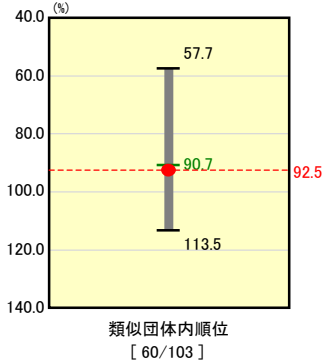
### 将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 **[415,610円]**



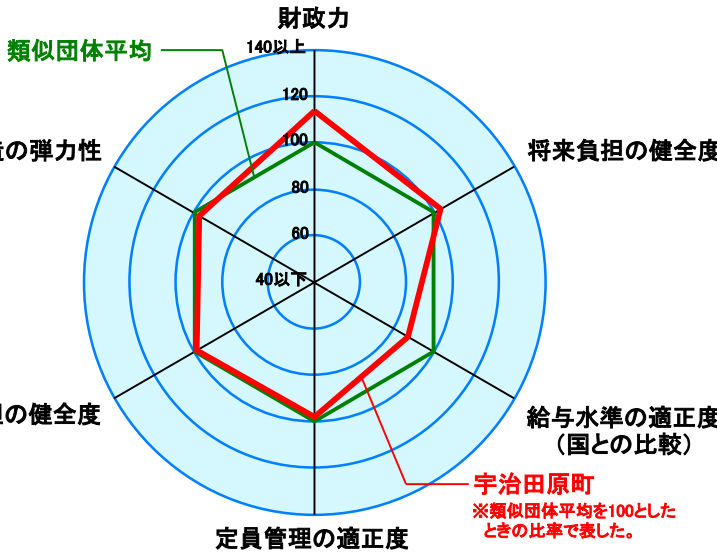
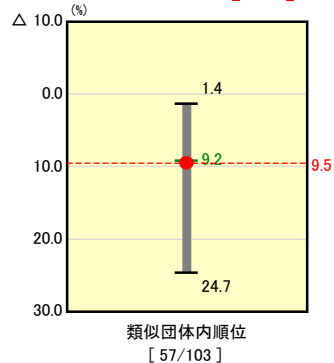
### 財政構造の弾力性

経常収支比率 **[92.5%]**



### 公債費負担の健全度

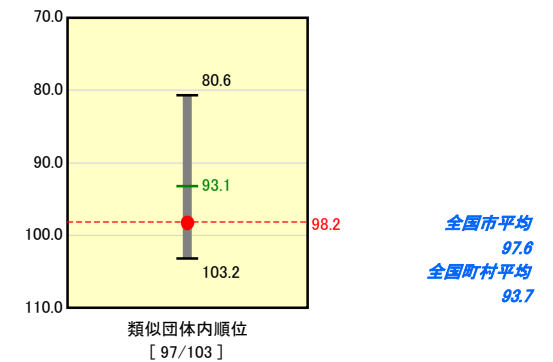
起債制限比率 **[9.5%]**



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

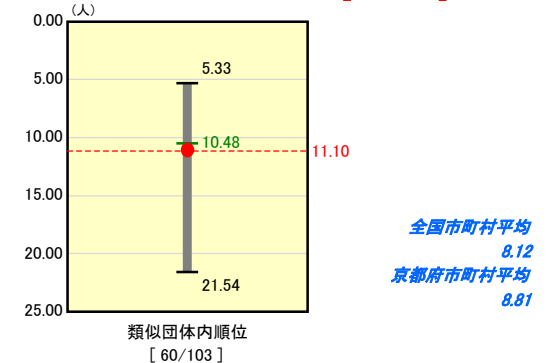
### 給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 **[98.2]**



### 定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 **[11.10人]**



### 分析欄

**【財政力指数】**  
長引く景気低迷により町民税(個人・法人)の減収から、指数は悪化傾向にあるが、宇治田原工業団地等の法人税収により0.69と類似団体を上回っている。

**【経常収支比率】**  
平成7年度に行った大型事業(総合文化センター建設)に係る起債の元利償還金が経常収支比率悪化の要因の一つにあげられるが、19年度には当該元利償還金の返済が終了することから、好転に転じると考えられる。引き続き宇治田原町第3次行政改革大綱及び同実施計画に基づき、人件費等の経常経費の削減を図るとともに、町税等の徴収率の向上に努める。

**【起債制限比率】**  
平成7年度に行った大型事業(総合文化センター建設)に係る起債の元利償還金が悪化の要因の一つにあげられるが、19年度には当該元利償還金の返済が終了することから、好転に転じると考えられる。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
類似団体を下回っているが、引き続き地方債発行の抑制に努める。

**【ラスパイレス指数】**  
全国比較すると平均年齢が非常に低いため、管理職員への若手登用等があり、類似団体平均93.2、全国町村平均93.7のいずれと比較しても98.2は高い水準にある。今後も国基準を基本に給与構造改革を実施し、職務区分を明確化(格付け等の見直し)等、給与の適正化に努める。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
全国的には、団塊世代の多量の退職者が懸念されている状況にあるものの、平成21年度末まで定年退職者が全くいないという特殊な職員構成となっている。引き続き事務事業の見直し、民間活力の活用、退職者不補充等、削減を図る中で適正な定員管理に努める。